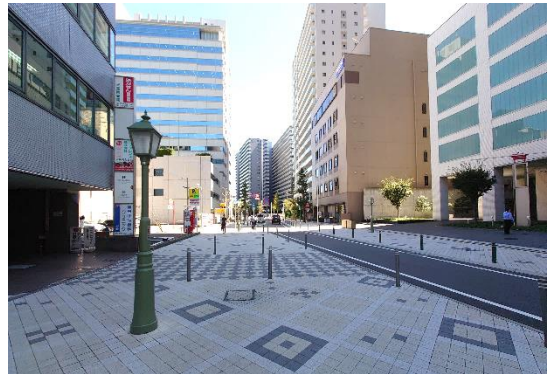


公共空間デザインアドバイザー専門部会の報告

| 葺合南 5 4 号線（磯辺線以南）道路改良工事 |  |
|-------------------------|--|
| <b>概要</b>               | <p>所在地： 中央区磯辺通 3 丁目～<br/>          浜辺通 6 丁目（磯上ロード）</p> <p>三宮の都心部からウォーターフロントエリアへの回遊性を向上させることを目的に、南行一方通行 2 車線の車道を 1 車線に変更し、歩道を拡幅する道路改良工事を実施（H28 年～29 年度の整備範囲より南側区間）</p>  |
| <b>意見と対応</b>            | <p>H30(2018).8 と H31(2019).3 に部会実施（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに改良済みの北側と今回改良する範囲のデザイン的な文法（色調等）を統一した方が良い</li> <li>・舗装パターンは、住居系要素が強くなる南側になるにつれ、グラデーションで落ち着いた感じに徐々に馴染ませていったらどうか</li> <li>・歩道拡幅の効果を最大限活かすよう、緑地帯はポイント的に設け、配置や形状に気を付けること</li> </ul> <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装の色調はエリアで分けず、整備済みの北側エリアから踏襲する形にした</li> <li>・舗装パターンについては北から南に行くにつれて、シンプルなデザインとなるようにした</li> <li>・拡幅した歩道幅を狭めることがないよう、植栽は高木植栽に絞りシンプルなものとした</li> </ul> |



## サンキタ広場・サンキタ通りの再整備

所在地： 中央区加納町4丁目～北長狭通1丁目

(サンキタ広場・サンキタ通り)

### 概要

阪急神戸三宮駅東口、JR 三ノ宮駅西口の北側に位置するサンキタ広場を含む三宮北西エリアは、神戸阪急ビル東館の建替に伴い「えきまち空間」内で最も先行して再整備が進むことになった。より良い空間を創出するため、公募により最優秀に選ばれたデザインをベースに広場空間を改修すると共に、サンキタ通りについても歩行者優先の空間として再整備を実施した。



R1 (2019).8 に部会実施

(意見)

- ・広場はコンペ案の躍動感ある舗装デザインを活かしたほうがよい
- ・舗装材は経過とともに味わいが出るものがよい

(対応)

- ・舗装デザインについては、コンペ案を踏襲し、縦方向の流れを意識したデザインとした
- ・舗装材は、年月の経過とともに味わいが出る石畳舗装を採用した

### 意見と対応



## 東遊園地の再整備

|    |   |  |
|----|---|--|
| 概要 | <p>所在地： 中央区加納町6丁目（東遊園地）</p> <p>神戸市役所1号館の南に位置する東遊園地は、全国でも有数の歴史を持つ都市公園であるが、中低木や構造物などによる空間同士の分断や、閉鎖的なエントランス、東遊園地以南への流れに繋がっていない等の課題があることから、「都心・三宮再整備」の一環として、回遊性向上の拠点としてさらなるにぎわいや利活用の創出を図るため、再整備を実施した（※R5.4時点で北側園地整備済み）。</p> |    |
|    | 意見と対応   | <p>R2(2020).8に部会実施<br/>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺一帯の見え方も含め、上部からの見え方も意識した方が良い</li> <li>・税関線（フラワーロード）から自然に人が流れていく空間になるようにすべき</li> <li>・サイン・ストリートファニチャーはできるだけ立ち上がりをなくす</li> <li>・見晴らし広場等の新たな視点場を意識して検討すること</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中低木植栽の数を減らし歩行者からの見通しを確保すると共に、高木は極力保存し、都心の中の緑地として雰囲気を残しつつ、開放感のある形とした</li> <li>・税関線（フラワーロード）からの空間は、歩道と公園が一体的になるよう開放的なエントランスにするとともに、将来の歩道改良も踏まえた舗装材とした</li> <li>・擁壁や植栽帯内を活用するなど、歩行エリアや芝生空間でサインやファニチャーの立ち上がりが極力生じない形とした</li> <li>・既存の南北方向の軸を活かしつつ、見晴らしひろばやにぎわい拠点施設など、新たに視点場となる空間を活かした形として整備を行った</li> </ul> |

## 東川崎（ハーバーランド）防潮施設補強工事

|    |  |  |
|----|--|--|
| 概要 | <p>所在地： 中央区東川崎町1丁目</p> <p>神戸市の沿岸部では、津波や高潮から市域を守ることを目的の海岸防災施設の整備を進めており、ハーバーランドの親水広場入口部では、起伏式の防潮施設が必要となった。起伏式の防潮施設は、大型の収納施設が通路両側に必要となることから、レンガ倉庫、跳ね橋が立地する親水空間に馴染むよう景観に配慮したデザインで整備を行った。</p> |    |
|    | 意見と対応  | <p>R4(2022).2 に部会実施<br/>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このエリアの土木構造物のデザインはレンガ倉庫のデザインを引用するのではなく、素材感を活かした周囲に馴染む形が良い</li> <li>存在感を軽減する場合、高木植栽を検討すると良い</li> <li>目立たせる場合はゲートにするなど、形状に意味を持たせること</li> </ul> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の景観要素にあわせ、素材感を活かした落ち着いた色調を採用した</li> <li>高木植栽を行い、存在感の軽減を図った</li> </ul> |